

事業所名: 児童発達支援センターシャローム

公表:2019年 3月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4		子どもの障がい特性に応じた対応を引き続き検討していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	4	専門性を高めていくため、社内外の研修参加や職員それぞれの専門分野領域のスキルを上げて行きたいと思います。	通所支援運営基準6条による配置基準は満たしております。女性が多い職場のため、個々が無理をせず力量を発揮できる職場環境作りが課題です。事業継続のため、職員配置数や負担の軽減化・平準化を図っていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		7	幼稚園内の生活空間であり、子どもの居場所としては過ごしやすい面が多いと思われます。	保護者様からいただいたご意見をもとに改善できるところから取り組んでいきたいと思っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	5	活動終了後に清掃と、物品の片付けを日々行っております。	継続して衛生面に配慮して行きたいと思っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4	事業所における基本的業務の進め方を職員個々で意見を出し合っています(未回答1)。	業務改善を進めるためのPDCAサイクルについて、課題解決に向けた職員の役割分担が必要とっております。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	保護者様のご意見・ご相談をもとに活動に取り入れております。	今回初めて保護者向け評価表により事業所の評価をいただきました。いただいたご意見・ご意向をもとに業務改善につなげていきたいと思っています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3	事業所のホームページで公開しております。	事業所での改善内容や保護者様からのご意見への回答を会報等でお応えしていきたいと思っています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	会計監査につきましては法人と合わせて外部の監査を受けております。	第三者による外部評価は行っておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2	年度計画を立てて職員の研修を行っております。外部講師を招いた研修では、マカトンサインや言語聴覚士の田中裕美子大阪芸術大学教授の講演を行いました。県や市、大学での研修、他の事業所が主催する外部研修にも職員が参加しております。	職員の資質向上に向けて必要な研修への参加を進めて行きたいと思っています。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	1	支援計画作成の際は、保護者様との面談結果や担当者会議、ケース会議を行って作成しております。	子どもの状況から、保護者様や相談支援専門員のお話を踏まえた上で、丁寧な計画立案を心がけていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	6	事業所内運用のアセスメントシートを使用しております。	作成したアセスメントシートを支援計画、及び支援内容に反映するよう引き続き活用していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	3	相談支援専門員から頂いた計画書をもとに、保護者様との面談等により具体的な支援内容を設定しております。	「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」に示されている支援内容と児童発達支援計画との照合を行い、ガイドラインに沿った支援内容となるよう継続して取り組んでいきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	3	子どもの特性を踏まえ、児童発達支援計画に沿った支援を行っています。	計画した支援内容と実際の支援に乖離が発生していないかをモニタリングを通じて確認して行きます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	活動プログラムは、リーダーや関わりある職員の意見を踏まえ、チームで立案を行っております。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		外遊び、ホール遊び、製作、調理、誕生日会のほか、季節の行事などを活動プログラムに取り入れております。	活動プログラムに変化を取り入れ、子どもたちが楽しめるように工夫したいと思います。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7		集団活動を基本としておりますが、個別の見守りや職員の配置等は状況に応じて計画に織り込んでおります。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	毎日の朝・昼にミーティングを行い、出席確認や療育内容、役割分担を確認しております。	子ども利用人数や職員の要員数に変更が生じた場合でも、柔軟に対応できるような体制づくりを目指したいと思います。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3	翌日のミーティングで前日の振り返りを行っております。	週に数回、療育内容の振り返りを行い、子どもたちの様子を確認しています。打合せ時間を設けることについては、事業所内で検討したいと思います。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		原則として、支援の当日にケース記録を記入しております。	子どもの様子や変化がわかりやすくなるよう改善を検討しております。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っております。		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	児童発達支援管理責任者や事業所のリーダー、サブリーダーが参加しております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	市の子育て機関や隣接のこひつじ保育園の子育て相談(リリールーム)の職員と連携を図っております。	子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と継続して関係を築ける機会を設けていきたい思います。

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	保護者様からの提供された情報を中心に、地域で開催される医療的ケア児対応の研修や講習に職員が参加しています。	地域の関係機関との連携については、幼稚園・保育園・他事業所や行政機関等との関係づくりを意識して支援を行いたいと思います。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	4	保護者様を通じて看護師が医師の指示書の管理や依頼、職員への連絡等を行っております。	保護者様のご承諾のもと、主治医や医療機関等との適切な連絡体制を図りたいと思います。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	担当者会議や連絡文書により幼稚園等との情報共有と相互理解に努めます。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	3	小学校や特別支援学校に職員が出向くなど、情報共有と相互理解に努めています。	移行支援を意識して学校との情報共有と相互理解を図りたいと思います。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	主として相談支援専門員を介して他事業所との連携を行っております。	専門機関との連携は個別の事案での助言を通して行いたいと思います。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	法人内の幼稚園・保育園とは園庭やホールでの運動あそびや季節の行事で交流を図っております。	
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	3	管理者が月に1度の定期会議へ参加し、研修には職員が参加しております。	那須塩原市自立支援協議会の子ども部会に継続して参加して行く予定です。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		連絡ノートや、お迎えの時間、面談等で情報の共有を行っております。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	6	子どもの様子やご家族の困りごとに傾聴・助言することで、職員スキルとして保護者様の対応力向上を図っております。	親子通園では保護者様と話し合い、寄り添う活動をしています。小集団活動の利用児の保護者様に対しての家族支援プログラムについては検討して参ります。
	保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	ご契約時や支援内容変更時、利用者負担変更時にできるだけ丁寧に説明を行っております(未回答1)。
㉚		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1	ガイドラインに基づいた支援内容を作成し、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ています。	
㉛		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		不定期ではありますが、保護者様からの相談対応や助言を行っております。	
㉜		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	現在、父母の会はありません。月に1度のケアラズカフェにおいて、保護者同士が任意に集う機会を提供しています。	今後、保護者会等の開催や保護者同士の連携支援については検討して参ります。

保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	相談や申し入れについては速やかに対応し職員内でも情報の共有化を図っております。	事業所全体として迅速かつ適切な対応を、個々の職員が心がけていきたいと思っています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	6	不定期ではありますが、長期休暇や行事の際は事前のお便りを発行しております。	活動の様子や行事予定を記載したお便りの発行を検討いたしております。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	1	個人情報の取扱い、及び保管については職員への周知と注意喚起を行っております。	個人情報の取扱いについては、事業所内の研修やミーティングで職員全員に周知徹底して参ります。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		子どもや保護者とお互いに理解し合える雰囲気づくり、言葉がけにおいて配慮しております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	6	「ケアラズ・カフェ」により地域住民の方との交流の機会を設けております。	地域住民との交流を幅広く図れる行事等を考えていきたいと思っています。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	3	法人母体の幼稚園において、緊急時等の対応を職員に周知しております。	事業所におけるマニュアル整備を行い、緊急時の対応が適切に行えるように保護者への周知を図りたいと思っています。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		定期的に避難訓練を行い、西那須野消防署に報告しております。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6	1	保護者様からいただいた情報を基に、服薬やてんかん発作等の子どもの状況の確認を行っております。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	6	1	保護者様の情報をもとに、医師の指示書がある場合は指示書に基づく食事・おやつ提供対応をしております。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	事業所内で発生したヒヤリハットの報告書を保管しております。ヒヤリハットにつきましてはミーティング時に検証し再発防止対策としております。	子どもの事故が発生しないようリスクマネジメントの研修や日頃の実践を踏まえ、職員の気づきと行動のスキルを向上していきます。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	虐待防止研修に参加した職員より研修報告を受け意見交換を行い、職員の虐待防止の意識を高めております。	栃木県の主催する虐待防止研修を継続して受講し、事業所職員へのフィードバックを欠かさず継続していきます。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	4	現在は該当する利用児はおりません。	身体拘束における事業所の取り決めを職員間で確認して参ります。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。